

京田辺市立

学校 便り

新小学校

〒610-0341
京都府京田辺市新堀切谷1
TEL 0774-63-2000
FAX 0774-65-5388

<http://www.kyotanabe.ed.jp/nc21/takigi-es/htdocs/>

たきぎ

7月号

—学校教育目標—

豊かな心と優れた知性を持ち、
心身ともに健やかに、
ひとり立ちできる児童の育成

令和4年6月29日

やってみませんか？

～いつの間にか誰かを救っているかもしれないことを～

副教務 今西 涼子

子どもたちは、もちろん大人たちも、毎日、自分なりに一生懸命に過ごしています。

学校でみんなが仲良く楽しく過ごしていくために大切なことはなんだろう？

みんながこの世で生きていくために大切なことは何だろう？

ふと、こんなことを思うこともあるかもしれません。

そんな時は、「あいうえお」を意識して行ってみてはいかがでしょうか。もちろん、普段から毎日やっていることばかりです。

「あ」は、あいさつをすることです。

「ありがとう！」と心から言えることです。その言葉だけで、お互いがとても気持ちよくなれます。「おはよう！」と朝の挨拶を人より先に言ってみてください。言えた気持ちだけで、自分が元気になれます。いろんな友だちと話ができるようになります。

「い」は、いのちを大事にすることです。

横断歩道を渡るとき、自転車に乗るとき、自然の中で遊ぶとき、自分の命は自分で守りながら過ごしてほしいと思います。また、ペット等の世話をすると、責任を持って命を育てる「責任感」が生まれます。

「う」は、運動です。

友だちと元気よく外で遊んだり、苦手な運動を練習したり、習い事のスポーツに励んだり、上手くなるために、出来るようになるために、一所懸命練習したりして、諦めないで努力することを学びます。

「え」は、笑顔です。

笑顔で話しかけると、相手も笑顔になれます。寂しかった気持ちや、悲しかった気持ち、泣きだしそうな気持ちも、ほっと安心する気持ちになるのです。

「お」は、思いやりです。

友だちと遊びを教え合いながら楽しく遊ぶことでやさしさが身に付きます。また、仕事や勉強、掃除、やるべきことが早く終わっても、まだまだできることを探して自ら進んで行動することで、機転が利くようになります。さらに、一所懸命に友だちや家族、先生の話をよく聞くことで、もっと知りたい、やりたい気持ちを持ち、分かることの楽しさを知るのです。

これらのことは、当たり前に行っている人もいれば、ちょっと出来ていないなあと思う人もいるのではないかと思います。ご家庭でも話題にいただき、いつの間にか、自分や誰かを救っているかもしれない「あいうえお」をどんどんやってみて欲しいと思います。

7月の行事予定

1日	金	全校朝礼 登校指導（PTA） 健康手帳配布
2日	土	
3日	日	
4日	月	健康手帳配布 歯磨き再開
5日	火	委員会 4年：5校時下校
6日	水	水曜特別5校時 ALT
7日	木	表現タイム わくスタ
8日	金	6年：薬物乱用防止教室⑤
9日	土	
10日	日	
11日	月	
12日	火	学期末短縮5校時 4年：学力診断テスト
13日	水	短縮4校時 給食終了 個別懇談会
14日	木	短縮4校時 個別懇談会
15日	金	短縮4校時 地域仲良し会④ 個別懇談会 安全の日
16日	土	
17日	日	
18日	月	海の日
19日	火	短縮4校時 個別懇談会
20日	水	終業式 短縮3校時

7月の生活目標

「仕事や掃除をきちんとやりきろう」

子どもたちは、学校の中で様々な仕事を担っています。

学級の中で行う日直や給食当番、掃除当番や高学年児童が行う委員会活動などです。

子どもたちは、日々任された仕事を行うことで責任感を身に付けたり、達成感を感じたり、自己肯定感を高めたりします。

ご家庭でも、子どもたちに仕事を任せ、成長するチャンスを作っていただければ幸いです。

7月4日（月）から歯磨き再開

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止していた歯磨きを、感染症対策に配慮した上で、7月4日（月）から再開します。

つきましては、4日（月）から給食時に歯ブラシとコップを持たせていただくようお願いします。



6年：薬物乱用防止教室

薬は病気を治したり、症状を軽くしたりするためにあります。

しかし、そんな薬でも使用方法を守らずに乱用してしまったり、違法な薬物を使ってしまうことにより、体に深刻な害を及ぼしたりします。

残念なことに、そういった薬物乱用事件は、年々低年齢化しており、小中学生の事案も報道されています。

そんな薬物乱用の害から子どもたちを守るよう、小学校の段階から警察の方による薬物乱用防止教室を実施しています。

4年：京都府学力診断テスト

4年生で毎年実施している京都府学力診断テストは、今年度実施がありません。その代わりに、京田辺市としてタブレットを利用してテストを行います。

先日、子どもたちはタブレットを活用した練習用のテストを実施しました。

将来的には、タブレットを利用したテストを実施することで、様々なテスト結果を子どもたち自身がいつでも振り返れるようになったり、子どもたちの学習の記録を自分たちで残して行ったりすることができるようになり、タブレットが学びを支えるツールとなっていく予定です。



水泳学習が始まっています

日中の気温が高くなり、水に入ることが気持ちよい時期になってきました。学校では、3年ぶりの水泳学習が始まっています。

水に慣れ、水の中で体を動かしたり、浮いたりする感覚に慣れること、水の危険について学習することを通して、水の事故から守る技術と知識を身に付けさせていきます。

薪小学校ホームページ

子どもたちの様子をお伝えしています♪



薪小学校の研究テーマ

相手や場面、目的に応じて自分の思いを
いきいきと表現することができる児童の育成

本校では毎年研究のテーマを設定し、教職員授業や指導の研究、改善をしています。
今年度は上記のテーマを設定し、「わくわく授業プロジェクト」と「いきいき表現プロジェクト」の
2つの部会に分かれて活動を進めています。
今回は、それぞれの部の取組を少し紹介します。

わくわく授業プロジェクト

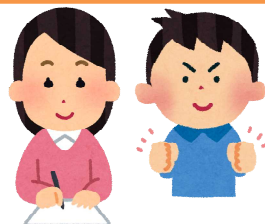
子どもたちが自分の思いや考えを表現したくなるような、
わくわくする授業作りを目指す。

取組1 授業の研究、改善

今年度は、算数科の学習に焦点を当て、授業づくりを基本から見直すこととしました。この1時間
で、子どもたちにつける力は何か、そのためにはどんな活動の工夫ができるのか。授業づくりの原
点に戻り、子どもたちがわくわくする授業づくりについて、研究協議を重ねていきます。

取組2 学力調査結果の分析と授業改善

本校では、毎年3種類の学力調査を行っています。6年生の全国学力・学習状況調査、4年生の京
都府学力診断テスト、全学年参加の標準学力調査です。それぞれの結果は、学校での指導の成果
と課題だと捉え、結果を分析し、それを授業改善に生かします。



いきいき表現プロジェクト

子どもたちが、自分の思いや考えをいきいきと表現
できる場の設定や表現力の向上を目指す。

取組1 表現タイム

昨年度までの「作文タイム」をパワーアップし、「表現タイム」としました。これまでの作文タイ
ムを「かきタイム」、友達の書いたものを読む「よみタイム」、書いたことを基に話し合う「はなし
タイム」を設定し、子どもたちの自分の考えや思いを表現する力を育てます。

取組2 ふりかえりメニュー

授業の終わりや行事の後など、子どもたちが学んだことや活動してきたことをふりかえる活
動を大切にします。学習の内容を確実に身に付けたり、自分自身の成長に気付いたり、次の活動
への意欲を持ったりするための、ふりかえりの視点をメニュー化しました。

取組3 マスト・リアクト

たくさんの仲間と学習し、よりよい学びが得られるように、授業中に友達の話に対して反応
(リアクション)することを大切に指導します。友達の話をしっかり聞き、自分の考えを伝えられる
ように、低・中・高学年の段階に分け、指導したい内容を検討しています。



生活がんばりカードの結果について

ゴールデンウィーク後に生活リズムの改善と日常の生活習慣を見直すため、「生活がんばりカード」の取組を行いました。結果についてお知らせします。

【点検項目】

1 きのう寝た時刻

2 今日、起きた時刻(7:00まで)

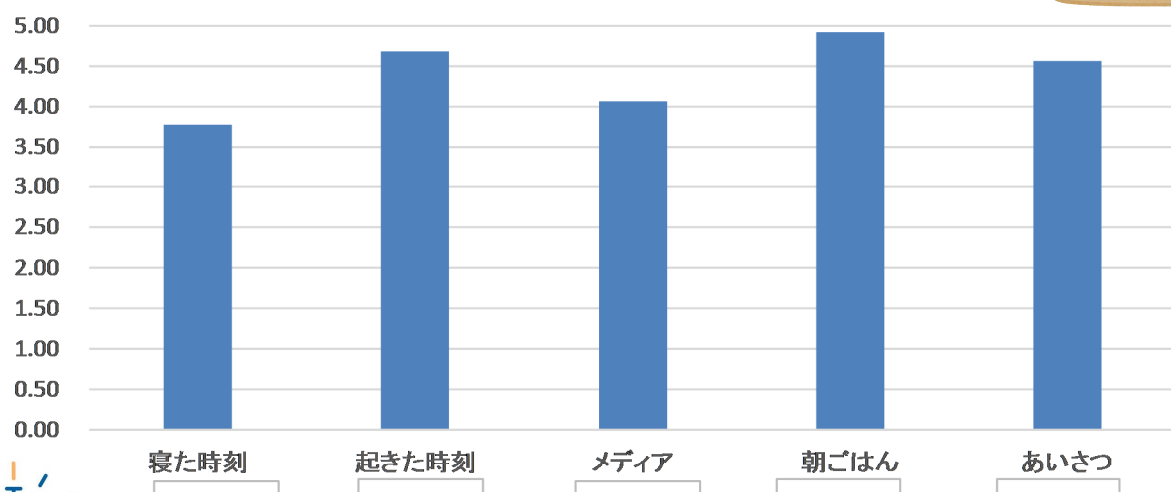
3 メディアの時間(各自で時間設定)

4 朝ごはんを食べる

5 朝、登校班の人に元気にあいさつする

* 5日間点検を行い、各項目で5点、合計で25点満点でした。

生活がんばりカード(1学期)



【点検結果より】

- 生活がんばりカードをすることで意識して早く寝たり、メディアの時間を減らしたりすることができている人も多かったようです。普段から規則正しい生活ができるようにしましょう。
- メディアの時間は、テレビ・ゲームだけでなく、スマホやタブレットの動画なども含みます。メディアの時間が多く、睡眠時間が十分に取れていない児童が多いようです。睡眠により頭(脳)や体が成長します。たくさん睡眠をとって次の日に備えましょう。
- 朝ご飯はほとんどの人が食べてきているようです。朝ご飯を食べることで代謝が上がり、一日の活力にもなります。脳がはたらくことで、学習の効果も上がるそうです。いい習慣を継続していけるようにしましょう。
- 登校班でのあいさつは、できている人も多いようです。しかし、恥ずかしがって、大きな声で挨拶が苦手な人もいます。気持ちの良いあいさつを続けていけるようにしましょう。



以上の結果を踏まえ、今後の指導に役立てていきます。
ご家庭でもよりよい生活リズムを作るように声掛けをお願いします。